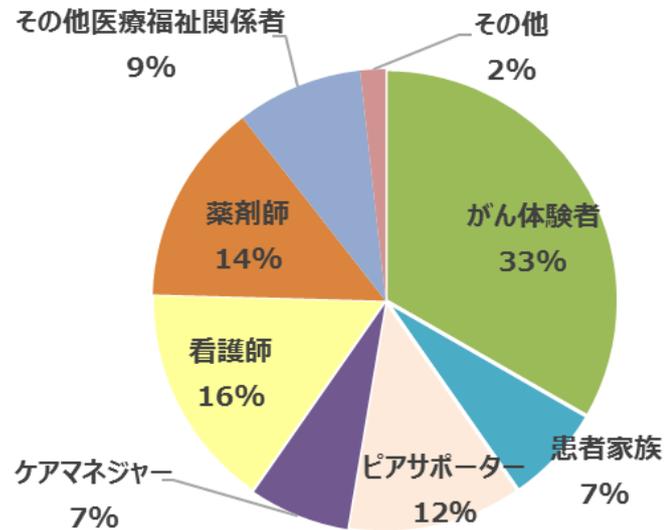


アンケートの結果〈抜粋〉

参加者：71名 回答者：57名（回収率 80.3%）

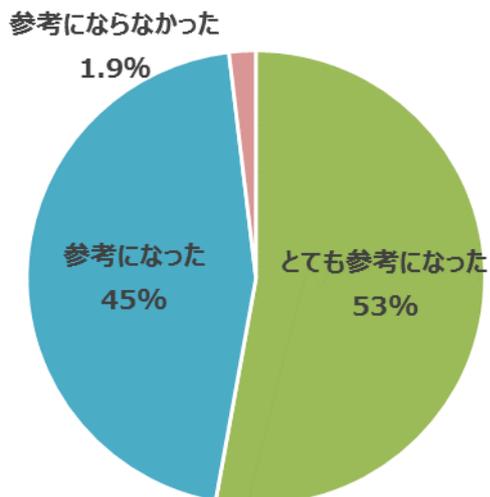
問1 あなたの職種・立場は？

職種・立場	人数
がん体験者	19
患者家族	4
ピアサポーター	7
ケアマネジャー	4
看護師	9
薬剤師	8
その他医療福祉関係者	5
その他	1
総計	57



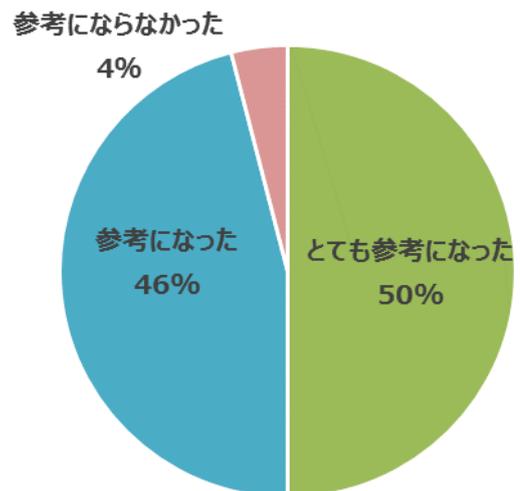
問2 本日のフォーラムの内容はいかがでしたか。

● 基調講演



参加者の98%が、フォーラムの内容に支持を示した。参考にならなかったと回答したのは、市民の立場の参加者はゼロであった。

● パネルディスカッション



パネルディスカッションにおいても、96%という高い支持が寄せられた。

問3 ご意見・ご感想 <基調講演>

医療・福祉関係者

- 日々、仕事として行っていることを振り返ることができ、明日からも頑張ってお仕事をしていこうと思いました。
- 精神科の患者さんが、がんや身体疾患を併発するので勉強にきました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 素晴らしい先生のお考え等知ることができ、今後の連携に勉強させていただきました。
- 実経験が少ないため、緩和ケアについての知識を拡充させたい。



一般参加者

- 3年前に利用した在宅医療に比して、かなり幅広い範囲での対応がされていると感じた。
- 時間軸-改めて再認識できた。
- その時を自分らしく過ごすために、自分はどうに生ききたいかを考えまとめ、家族に伝えていきたいと思った。
- 緩和ケア病棟の雰囲気が少しわかりました。緩和ケア病棟は1度入ると亡くなるまで出ないものだと思っていた。
- 在宅医療がどんどん進化していくことで、家族と寄り添う時間が多くなる。それにより家族がまた一緒に頑張ろうと思うことができる。
- 少しずつ前に進むために参考になりました。
- ①「訪問医療」と②「在宅医療」との明確な違いが理解できた。①は親の時に世話になりましたが、最期が休診日のため、死亡診断は別の医療機関でした。②が地域にできることを望みたい。
- 訪問診療と往診の違いをよくわかっていなかったので理解できた。
- とても勉強になった。訪問看護の話が聞けてよかった。

問4 ご意見・ご感想 <パネルディスカッション>

- 在宅医療を支える立場として心づもりが出来たように思います。ありがとうございました。
- 一般も対象にした内容なので、ご家族の気持ち等も学べることができた。
- 医療者は医療者の考え、患者には患者の考えがある、それぞれに勉強したり、集いに参加はしているが一方通行のことは多いと感じました。お互いに考えられるこういう場は大切だと思いました。私自身ががん患者とは考えておらず、人としてみるのでそういう視点で物事は考えないのですが、がん患者さんはそういうふうにみられたくない気持ちの中で、でも分かち合うためにそういう場に参加する。それが意識してしまう要因でもあり、でも必要なことで…とても心のケアは難しいなと感じました。自分自身を振り返るいい機会になりました。ありがとうございます。
- 金田さんの「見える医療者」のお話は非常にわかりやすく、考えさせられました。患者さん・ご家族の想い、見える世界をしっかりと把握していくことの大切さがよくわかりました。
- 精神、独居、老々などケースについての問題提起がよかったです。今後、どう対応していくか改めて検討が必要だと感じました。
- がん患者は医療保険しか使用できないと言われましたが、がん末期の方は介護保険が申請できます。40歳以上65歳未満が対象となります。もう少し詳しく介護保険の仕組みを説明されていたかと思いました。
- ケアマネジャーに相談するとよいことがわかった。独り暮らしでも上手に利用しながらやっていけることがわかった。今日のおみえにあった方たちのような出会いがあればいいと思いました。
- 特に訪問看護師さんの話で痛みのコントロールはできるとの言葉が嬉しかったです。わかりやすかったです。訪問看護師さんの仕事があるとわかってよかったです。生きること、看取ること、死ぬこと…よかったです。
- 迷ったら一度やってみる。熱い人はたくさんいるというのが頼もしかった。
- 連携の流れの説明があるとベスト。
- 独居の人にも希望が持てました。
- 実際の話が聞けてよかった。メールで思いを聞ける、吐ける時代になったことは心強い。